資料４

地域集会施設再整備計画の見直しについて

１ 現状

(1)少子化の進行

本町の人口も減少傾向であり、2040年度は 15，593 人と推計されている

(2)コミュニティの多様化

町内会加入率が50％を割り込む一方で、ライフスタイルや価値観の変化によりコミュニティが多様化し、地縁にとらわれない施設利用も増加している

２ 課題

(1)施設数の精査

人口減少を想定しながら公共施設を再編していく必要があり、集会施設数も現状を維持することは難しい（31施設の平均稼働率は 3.41％≪15，097h/442，380h≫）

(2)施設運営手法の精査

既存の地域コミュニティが縮小し、地域による施設運営が難しくなってきた

(3)費用の増加

人件費や資材費が高騰するなど、再整備費用や維持管理費用は今後も増加傾向

（旧耐震基準 10 施設の再整備費試算：約 12 億 5 千 8 百万円）

３ 見直し要旨

(1)施設数

ア　市街地　　４～5施設

イ　農村地区　 20施設（現状維持を基本とする）

(2)運営手法

ア　市街地　　直営（民間委託／指定管理者制度）

イ　農村地区　 地域管理（運営協議会）

(3)機能

ア　市街地　　公民館（居住地を限定しないコミュニティ施設）

イ　農村地区　 地域集会施設（地域住民の集会機能）

４ 見直し計画

(1)計画名称

芽室町コミュニティセンター再編計画

(2)計画期間

令和9年度～令和16年度